

京城日報

刊夕日八
本報創刊於明治二十二年九月八日
社址 東京市丸の内區丸の内二丁目
電話 二二二二
代印 東京市丸の内區丸の内二丁目
電話 二二二二

一兩日中に大戦

雲南軍約一萬は重慶に迫りつ
つめれば一兩日中に大戦あるべしとの情報所が
（東京電）

南支動亂と列國

雲南の獨立軍主となり各省の反帝政策連絡す
るに於ては列國は交戦團體の承認を與ふべく目
下協議中なりと傳へらる（東京電）

激烈なる斬壕破壊戦

巴里電に據れば六日午後發射の砲弾が獨逸軍の
壕に對する他撃も亦頗る激烈な極め各砲臺は平
地の如くに撃ち放たれ獨逸軍の壕は獨逸軍の
せり有る獨逸軍の壕は獨逸軍の壕に吹き飛
び（倫敦電）

獨の商船拿捕船遊弋

獨逸海軍に據る獨逸の商船拿捕船は獨逸の
獨逸海軍に據る獨逸の商船拿捕船は獨逸の
獨逸海軍に據る獨逸の商船拿捕船は獨逸の

哈爾濱の露兵

土氣頗る振ふ
哈爾濱電に據れば露兵は獨逸軍の理由
の下に獨逸軍に對する攻撃は獨逸軍の理由
の下に獨逸軍に對する攻撃は獨逸軍の理由

上院豫算會議

貴族院は八日豫算委員會を開き
十二日豫算委員會を開き
十二日豫算委員會を開き

内閣の足並

内閣の統一地は獨逸軍の理由
の下に獨逸軍に對する攻撃は獨逸軍の理由
の下に獨逸軍に對する攻撃は獨逸軍の理由

首相掛冠は四月

大隈首相は豫算委員會後
四月に首相掛冠は四月
四月に首相掛冠は四月

政務總監東上

山縣政務總監は東京府知事
山縣政務總監は東京府知事
山縣政務總監は東京府知事

德壽宮御參拜

王親王は同日德壽宮に
王親王は同日德壽宮に
王親王は同日德壽宮に

運輸聯絡網

新設の運輸聯絡網は
新設の運輸聯絡網は
新設の運輸聯絡網は

黑鉛需要旺盛

獨逸海軍に據る獨逸の商船拿捕船は獨逸の
獨逸海軍に據る獨逸の商船拿捕船は獨逸の
獨逸海軍に據る獨逸の商船拿捕船は獨逸の

日露連絡會議

東京に於ける日露連絡會議
東京に於ける日露連絡會議
東京に於ける日露連絡會議

寺院の養蠶實行

京畿道府縣に於ける寺院の養蠶實行
京畿道府縣に於ける寺院の養蠶實行
京畿道府縣に於ける寺院の養蠶實行

各地金融狀況

各地金融狀況は
各地金融狀況は
各地金融狀況は

陝川と交通線

陝川と交通線は
陝川と交通線は
陝川と交通線は

京府豫算案

京府豫算案は
京府豫算案は
京府豫算案は

月末決濟通知

月末決濟通知は
月末決濟通知は
月末決濟通知は

客中より

客中よりは
客中よりは
客中よりは

山群

山群は
山群は
山群は

高女認可

高女認可は
高女認可は
高女認可は

増配の新機運

増配の新機運は
増配の新機運は
増配の新機運は

住友肥料不入會

住友肥料不入會は
住友肥料不入會は
住友肥料不入會は

洋紙値段一定

洋紙値段一定は
洋紙値段一定は
洋紙値段一定は

大阪經濟通信

大阪經濟通信は
大阪經濟通信は
大阪經濟通信は

各石油更に値上

各石油更に値上は
各石油更に値上は
各石油更に値上は

人事消息

人事消息は
人事消息は
人事消息は

生徒募集

生徒募集は
生徒募集は
生徒募集は

長崎縣人懇親會

長崎縣人懇親會は
長崎縣人懇親會は
長崎縣人懇親會は

砲鐵店

砲鐵店は
砲鐵店は
砲鐵店は

森田代

森田代は
森田代は
森田代は

吉郎彦

吉郎彦は
吉郎彦は
吉郎彦は

貴族院
(目八)

一、海軍補充に關する將來の施設に就ては更に計畫を擧げて、提案せらるべき事

二、鐵道に就ては期直に關する方針を決定し適當計畫を擧つる事

三、鐵道の經營に就ては財政の計ずる限り一般會計よりの借入に依らず他に適當なる計畫を構つる事

右に對し目賀田男其他より暫出でて前田子之に答へ採決の結果石渡氏の修正案は少數にて否決し前田氏の附帶決議案は大多數にて可決して第三分科にて江木氏提出の教育調査機關改善の附帶決議も多數にて可決し最後に總算全部に就き採決を行ひたる結果多數にて原案可決確定し十一時四十分散會せり（東京特電）

置は敢て遺憾にあらざるも憲法上の變態なる故に斯かる委任立法は可成り廢止すべきを至當とせしむるは現在の現狀並に司法官制度を論じ是條に相は在野當時には大に武官總督を要とせるに係らず其の改正を期せざることには如何と雖も一木一石は委任立法と憲法上の關係は解決し居れること明時に委任立法の必要なることも明なり政府の見る所を以てせば大正十年までは從來の通り繼續する必要を認め又司法制度改良も必要ならん直ち内地の裁判所構成法を適用するに考慮を要すと答辯し更に松田君と相との間に一二應答あり

▲六三問題質問

料の増徴、賠償金の清算を要する。昨一月
 五分會會議議程の報告より前川虎造君
 (國民) 追日露國亂脫問題に關し質問
 したるに未だ其答辯なきは如何と其
 の不都合を詰れば參政官單置に答辯
 し質問に入る
 前川沿海洲漁業權の侵害に關する
 質問
 小西和若(中正)今回歸國政府の發表
 したる露國沿海洲漁業規則中にはポ
 リツハウス嬢和條約及び日露漁業條
 約に基づける本邦人の既得權を侵害す
 るの甚しきものなり政府の所見如何
 と質し次で
 對米及び對支外交に關する質問
 露國の進歩を計らんがためなるが之れ
 より一層適當なる方法あらば本法を
 廢するも可なりと述べ次で尾崎法
 是は外交任用に對する主義は今書不
 なるも其態度に於ては同一ならず
 答へ朝川虎造君「國民は明治三十
 年改正の際大隈首相を總理とせる
 步當の箕浦、武常の現各大臣は之
 に反對個人としては非ず」と詰れば箕
 浦相國人としては議論あるも今日
 事情廢止の時期に達せずと答へ
 崎法相亦松田君の質問に對し裁報
 權成法を今日臺灣に施行するの可
 は閣議未だ決し居らずと答へ此の

賽浦遜相登壇提案の理由を説明し小

あるも目下のところ朝議の代議となし
父資金は悉皆生利酌の事業とする計畫
なりと答へたるに小山君は本案は必要
不敷の嫌なきや何故進んで労働連
を實施せざるやと質し之に對し連相
は民衆を應進せざる程度に於て計畫
せり即ち民衆の及ばざることを補
足するにありと答へ(相局現次郎君
(國民)は保險料を普通の保險を諸君
とせるは社福政策上下級者の幸福増
進の目的に副やとこの質問に對し連相
は普通保險に比し死に多き故なり
を答へし時木原次郎君(同志)も故有
りたがたを問ひ連相は大臣大蔵大臣
の出資を求め(二)將來朝鮮鐵道の爲
には本案金額以上公債を募集するの
必要なきや(三)明年の議會に於ける
大蔵大臣の説明に依れば朝鮮の鐵
道は現在の程度を以て足れりとす
し必要ありとするも現在の程度に止
るべき旨を問ひて現大蔵大臣の所見
を同一なりと(三)朝鮮の統治に關し
は官制に依れば内務大臣の監督に屬す
るも朝鮮の開發銀行金融公債其他一
般の財政經濟に關する事項に關して
せきにんかたん

責任負擔と權利承認

けんりんしやうに

兩案とも全部原案通り
可決せり(八日午前九時卅分
分總監督府君電)

雲南動亂の將來と列國利益問題

てゝも列國の利益に對する責任を負担せしめ同
に其の權利をも認めざるを得ざるに至るべく
も雲南軍を交戦陣地と認むるが或は越くとも動亂狀態を容認するの點
出でざるを得ざるべしと(東京特電)

せんうなんりやうぐんしやうとつ

●四川雲南兩軍衝突

統帥府側の公報に據れば叙州附近に於て四川軍と雲南軍と衝突し北軍
五十名南軍二百名の死傷を出だし南軍の機關砲
門を鹵獲せりと傳ふ(北京電報)

統府側の公報に據れば叙州附近に於て四川軍と雲南軍と衝突

○**羅國動員と要求拒絶**
馬尼拉政府が同國軍隊に動員を行ひたるに對し獨逸兩國政府は國に動員の一部撤廢を要求したるも羅馬尼亞政府は斷乎として此の要求を拒絶したりと傳へたり
(桑港電報)

廢止法委員會

●皇后陛下下行啓
 皇后陛下には豫て仰せ出されし如
 八日午前九時八分青山御所御出
 皇子澄宮崇仁親王陛下御同伴
 上御懸寒中に在はす青山御用邸
 行啓あらせられたり（東京特電）

●貨物損害頻々
 包裝改善の急務
 内地より朝鮮に移入せられ又朝鮮
 より輸出せらるる貨物は何れも其包
 装概して不完全なる爲め往々内容品
 事年六十一（大正）結電

日ノ豫算恩恵に於て可決したる

(八日午後九時刊)
分總電府京華電

兩案とも全部原案通り
出決せり(八日午後九時刊)

権利承認
の將來と列國利益問題
大蔵大臣は(二)に付ては既定計畫は是る所要額に對しては本案の金額不足れるも將來の建設改良費に關する其時期に至り急務を要する事であるが、(三)に對しては調査の上にあるれば即答し難し(四)に對しては維持存続する積なりと答へず右の大蔵大臣は悲憤自叙田委員長は八及び三一議會に於て追加東京の際既に事業公債法の制限を以てせる事に依り海軍擴張を主張したる事を費用内木内山等重臣干渉前同様の贊成を繰返す荒島委員より夫れ々答復なしじやう

陸軍省議に入り木内氏の發議にて
兩案とも全部原案通り
出決せり(八日午後九時刊)

兩軍衝突
四月三日南軍と北軍衝突し北軍を出だし南軍の機關砲を要求拒絶

要求拒絶
を對し獨逸兩國政府は要求したるも羅馬尼政を拒絕したりと傳へらる

○右近氏逝去
大阪の右近權左衛門氏は八日逝去享年六十天(報特電)

貨物損害頻々
包裝改善の急務
内地より朝鮮に移させられ又朝鮮輸出せられる貨物は何れも其包装概して不完全なる爲め往々内容品の紛失若くは毀損せらるることある年に就主の被損害數が増えざる為めに近年時に内地朝鮮間に於ける移出物の發展に伴ひ其運賃件數亦著しく増加することありしやう

日本にて公募額五千萬

々日本に於て一般募集すべく我が
要銀行之が取扱シシジケートを組
し善く々國より公募する事とな
り證券の發行條件は左の如し
發行總額 額面邦貨五千萬圓
利率 年五分にて割引の方法に
據る
期限 一箇年
申込最小額 額面金五千圓とす
申込證據金 額面自國に付金三
圓
申込締切日 大正五年二月九日よ
り申込を受け付同十二日締切
但し申込證據金は拂込金に充當
するものとす
前項種類 一萬圓券五千圓券の
るが茲に其性質につき紹介せんに
證券は日露戦争の實に寧ろ露國政
の事情に對し我邦が算盤以外に深
なる同情下に便宜を與ふるものに
して總額五千萬圓の資金を以て之
に應ずるものなりと雖も石の金額
露國に向つて流出す
るものに非ずして露國より出
邦に對し巨額の軍需品の注文ありて
之れが代價の支拂に充當せらるべき
ものにして募集せられたる金額は日
本銀行乃至金銀行に於て保管せし
る露國の必要に應ずるが當り
露者に代金として支拂はるべきも
あり而して前記條件中にあるが如
く露國が發行するものと爲す

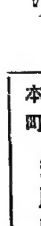
最新實地夾文手

本館は英字新聞記者として、年輪は在留せられ、
 本館せられたるもの、邦語を交して、
 添削をせられたるもの、邦語を交して、
 勿論、外人と書信の往復を爲さんとする、
 發兌 東京神田南神保町 日進堂 京城 電話 五八六 大阪屋敷
 延日都風北面反湖東面所在
 市五百九拾貳斗落二日午後一時京城德壽宮事務室
 右來二月二十二日詳細事務室宛照會アリタル
 ニ於テ競賣ニ付ス 元慶善宮遺產清算委員
 賣却土地廣告

右來ル二月二十二日午後一時京城德壽宮於テ競賣ニ付ス詳細ハ事務室宛照会

生葡萄の實より
搾取したるまゝの
純國産

東京
本町
近藤利兵衛



代表的衛生飲料として

畏くも **宮内省の御用命**を

本酒は茨城縣牛久神谷葡萄酒に栽培する葡萄種優良の葡萄質を釀造したるものに運費關稅等の諸費なき爲め外國產に比し價格頗る低廉なり

貴顯紳士の愛賞

翕然として本酒に集

京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目
電話(自宅) 八八〇番

越^{もろこし}著^{しよ}は約^{やく}十萬石^{じふまんせき}に達^{たつ}し檢査^{けんさ}を施行^{しんこう}
 する分^{ぶん}は六萬八千餘石^{りくばんやくじゆせき}と解^いせらる。
 なりし原因^{げんいん}は新^{しん}嘉^か以來^{いらい}米^{こめ}價^け漸^{しだ}々^{じやく}昂^{あき}貴^き
 の商勢^{しやうせい}を持^も續^つし十一月^{じふいちがつ}より俄^{たち}然^{ぜん}昂^{あき}貴^き
 十二月^{じふにがつ}に入りては最^{さい}高^{かう}値^ぢなる十二^{じふに}

(最新刊)

實地英文學集

往復
附書壹方作例

本書は英字新聞記者として、年餘以來に在留せらるゝ駒井先生が英米人々との往復せられたる消息文中特に文章の純潔に關して書簡文の模範となすべきものを選び是れを編輯し更に英文の精練に關して書簡文の注意と宗敎例あるものを加へた也。教員や學者の如きには大書翰に關する新報記者の能を極む者生は勿論あり又建築家の往復を爲さんとすべし云々に取つては無二の寶典也。

東京山王町三丁目 日進堂京城號 振五八六 大阪屋號

發兌 振豐丸一九三三

發行所 京阪太田町一丁目 京都府城三三〇番

地方販賣 支店、支店、書物店、分館、並に販賣員を募る希望者に郵券二錢送れ、規冊書を遣呈す

員募集 東京市下谷區 東光園歷史寫眞會 部

デリック・ロビンソン 在倫敦、駒井華南先生編著

定価金九拾玖圓、送料八錢

延自都風北國及湖東面所住
右來一月二十二日午後一時京城德壽宮事務室
ニ於テ競賣ニ付ス 詳細ハ事務室宛照會アリタシ

賣却土地廣告

元慶善宮遺產清算委員

東京 本町 近藤利兵衛

生葡萄の實より
搾取したるまゝの

純國產

牛久赤白葡萄酒

代表的衛生飲料として

多年品質改良に努力したる効空しからず

畏くも宮内省の御用命を

谷葡萄酒園に栽培する
佛國種優良の葡萄實を
醸造したるもの葡萄實
を運賣し、税等の諸費
なき爲め外國産に比し
價格頗る低廉なり

家りつゝあると同時に
貴顯紳士の愛賞
翕然として本酒に集まる

イゲダ小兒病内科醫院

京城三越呉服店前へ入る地町四丁目 電話(醫院宅電) 八三〇四番

池田季雄
著は約十萬石に達し検査を施行
なりし原因は新戦以來米穀漸次騰上
の商勢を待機し十一月より俄然暴騰
十二月に入りては最高値なる十二
月十六萬八千餘石と騰せたる。

五五
〇〇

電話七五
同荷拔